

# 『今後の県立高等学校の在り方に係る基本計画』

平成26年2月26日  
広島県教育委員会

いきます。

### (3) 中高一貫教育校(注18)

併設型中高一貫教育校として平成16年度に開校した広島中学校・高等学校は、教育課程の工夫や生徒に高い目的意識をもたせる取組やグローバル化に対応した取組など特色ある教育を展開するとともに、その教育実践の成果を県内の各学校に広く発信するなど、本県教育全体を牽引する役割を果たしています。

また、連携型中高一貫教育を現在実施している3校では、社会性や豊かな人間性を育成するため、きめ細やかな指導を行うとともに、地域の特徴を生かし、中高合同での取組や特色のある教育活動を実施しているところです。

これらの取組の成果を受けて、県内の他の地域から、中高一貫教育校の新たな設置や指定を求める声があります。

さらに、社会・経済の急速なグローバル化の進展を踏まえ、本県においても、様々な分野や地域において活躍できる人材や社会や地域が抱える課題を解決するためにリーダーシップを発揮できる人材など、多様な人材の育成が求められています。

そのためには、幅広い教養や問題発見能力等を身に付けさせる教育を実施することが必要であり、中高一貫教育校にはこれらを身に付けさせるに当たって6年間の計画的・継続的な指導を行うことができるというメリットがあります。

#### －取組の方向性－

- 中高一貫教育校におけるグローバルリーダーの育成を目指した教育プログラムを開発・研究するとともに、このプログラムを実践する新たな中高一貫教育校の在り方について検討します。
- 広島中学校・高等学校については、引き続き、本県教育全体を牽引する役割を果たすとともに、グローバル化に対応した教育を一層推進するなど、さらなる充実を図ります。
- 県内に広島中学校・高等学校の成果を広めるために、既存の高等学校に県立中学校を新設することを前提として、併設型中高一貫教育校を新たに設置することを検討します。

なお、中高一貫教育校の設置を検討するに当たっては、地元の小・中学校への影響等について、地元教育委員会と十分に連携を図っていきま

す。

- 連携型中高一貫教育校については、市町立中学校と県立高等学校が連携した取組の成果を検証するとともに、当該中学校からの進学状況等を踏まえ、新たな指定を検討します。

#### (4) 取組の推進に当たっての留意事項

課程及び学科等の改編の実施に当たっては、入学希望者が、各学校の校風や教育内容の特色を踏まえて、目的意識を持って主体的に選択することができるよう、入学者選抜の選抜尺度や選抜方法について改善・見直しの検討を行います。

あわせて、各学校において、中学校における進路指導が充実するよう、中学校と連携協力を密にして、自校の校風や教育内容、入学者選抜についての情報を中学生や保護者に積極的に提供するとともに、体験入学を行うなど啓発的な体験を一層積極的に実施することが必要です。

また、転入学及び編入学については、高等学校新規の選抜と同様に、入学者選抜の選抜尺度や選抜方法について改善・見直しの検討を行います。

あわせて、生徒が高等学校入学後に自分のやりたいことを見出し、その実現に向けて転学することが真に必要な場合には、他の県立高等学校への転学ができるように、転入学の要件について検討を行います。